蒼葉
裾野市立深良中学校だより
平成24年2月8日発行
第　36　号
発行人　校長　鈴木史良

2年生の頼もしい活躍

―― 深中生のすばらしい国際感覚にふれて ――

２月４日（土）に市海外友好協会主催で、「英語・日本語スピーチコンテスト」が開催されました。市内６つの中学校から１６名の中学生と市内で暮らす外国人３名がスピーチを行いました。深良中からの参加者は、２年生の錦織颯夏さん、高橋奈於さん、菅沼早紀さんが参加し、英語で熱弁をふるいました。３人ともとても上手で、発音もきれいでした。みんな一生懸命練習に励んだに違いありません。他校と比べても遜色ない、堂々とした立派な発表でした。そのなかで、見事最優秀賞に輝いたのが、錦織さんです。アメリカでの留学体験から得たことを流暢な語り口で、ジェスチャーも交えたごく自然なナチュラル・イングリッシュに聴衆が魅せられました。

I went to America last summer and stayed with my host family for 10 days. It was my first trip to America. So I was very excited and a little anxious.

錦織さんのスピーチは、昨夏、初めてアメリカへ行き、ホストファミリーと過ごした１０日間の思い出が語られています。

会長から表彰される錦織さん

参加者が食べ物をもち寄って開くパーティーをポットラック・パーティーと言いますが、ホストファミリーの親類が大勢参加したパーティーを体験した錦織さんは、親類、家族のつながりを大切にするこの国の文化に感心すると同時に、日本のことを振り返り、日本の家族の絆が以前より弱くなっていることに気がつきました。

We should learn the importance of concerning with our relatives. If we will have a family gathering, it will deepen our relationships to each family member.

家族との絆の大切さを説いた後、私が何よりも感心したのは次のフレーズです。

Even if we have difficulties, we can overcome it with someone's support. We will be happy when we can help them too.（どんな困難でも、人と人とが助け合うことで克服できる）

このような志をもつことこそ、“豊かな学びで世界に羽ばたく生徒”を新たな学校目標とする深良中の生徒といえるでしょう。

ボランティアとして昨夏、東北の被災地を訪れた菅沼さんのスピーチにもすばらしい表現がありました。

I was moved with compassion for them because they were working hard for everyone's sake.（被災者が他の被災者たちのために一生懸命働いている姿に感動した）

被災された方々が、自分だけのためではなく、みんなのために一生懸命働いている姿に心を動かされました。これは日本人のもつ良さであり、大きな「強み」だと思います。菅沼さんは最後にこう結んでいます。

小さな行為であっても、それが集まると大きな行為になると。
If we can do small things together, it will become big things to them.
　高橋さんは、富士山を世界遺産にするため、富士山の現実に向き合いました。
Climbers went there and threw their trashes anywhere. I feel so sorry with that because Mt.Fuji is a symbol of precious thing among Japanese people since we were born.
（富士山はずっと昔から日本人に愛されてきているのに、登山者が捨てるゴミが絶えないことを残念に思う）
そして今、私たちがすべきことを訴え、今の自分の生活も見直そうと決意したのです。
We should never throw away trashes anywhere. It’s time to take some actions.
I will also keep my things neat and tidy.（ゴミを捨てず、私も整理整頓など心掛けていきたい）
　なお、当日の会場に部活動を終えた２年生女子のグループが深良中３人の代表生徒の応援に駆けつけてくれました。これも本校生徒のすばらしい現れだと思います。

ステージに勢揃いした各校代表の生徒たち

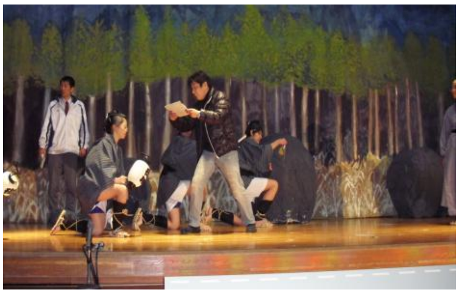
深良地区青少年健全育成標語　優秀作品

　２月１日（水）、深良コミセンで地区青少年育成連絡会が開催され、青少年健全育成標語の審査が行われました。本校２年生全員が募集に協力し、次の６点が優秀作品として選ばれました。どの作品も地域をより良いところにしたいという気持ちにあふれています。優秀作品は３月４日（日）に深良コミセン前で表彰式が行われます。

捨てないで　深良の自然　守ろうよ	菅沼早紀
一人から　少しの勇気で　思いやり	小川健太
あいさつは　心に太陽　輪をつくる	阿部凪沙
深良から　笑顔とあいさつ　広げていこう	倉田　桃
あいさつで　広がる人の輪　地域の輪	錦織颯夏
地域との　交流こそが　宝物	山口　輝

演劇「いのちの用水」公開日迫る！！

　２月２３日（木）、富士山の日に深良中１年生による演劇「いのちの用水」が地域、保護者の皆様に公開されます。そのため、去る３日（金）には本校卒業生で、現在東京で舞台監督としても活躍されている土屋貴司氏にお越しいただき、熱心な指導を受けました。生徒たちも一生懸命に取り組んでいます。公開日が近づくにつれ、地域の皆様からの問い合わせも多くなり、この劇が実に多くの皆様方に期待されていることが実感されます。当日、午後２時開演予定です。多くの皆様にご観覧いただきたく、ご案内申し上げます。


土屋氏の演技指導を受ける生徒たち